

がしつかりしていれば水は怖くないこと、身近な物を利用了した救助法、ロープワークなどについて講習をしましたが、過去にこのボランティア教室を体験して成長した青年が自ら、後継者の育成のため指導に当たっている姿が見られ、教室を開くことの意義を実感しました。

**富山県水難救済会**では、平成十七年七月十二と二十五日に伏木海上保安部から講師を招き、氷見ふれあいスポーツセンターと市立射北中学校体育館で若者の海難事故防止、海浜事故とその対応、傷病者への対応と救命措置を内容とした教室を開催しました。

参加した生徒は、離岸流のメカニズムとその危険性、富山湾特有の回り波の話、実験映像や救助の体験談など身近な話に熱心に耳を傾け、担当した教師からは「生徒は真剣に取り組んでいたし、この経験を実際の場でぜひ生かしてほしい。このような年頃に経験したことは鮮明に記憶に残るはずなので、よい機会だつたと思う。」との感想が寄せられました。また、生徒からも感想文が寄せられました。



愛知県衣浦救難所（平成 17 年 7 月 18 日）



富山県氷見ふれあいスポーツセンター  
(平成 17 年 7 月 25 日)



富山県新湊市(現射水市)立射北中学校  
(平成 17 年 7 月 12 日)

### 参加した生徒達の感想文

（高校生）

CPR の方法を一からきちんと教えていただきありがとうございました。実際のバディシステムで CPR の練習をすると吹き込みや圧迫の加減などがわからなかつたのですが、人形を使うことで、しつかりとした気道確保の方法や上記に述べた加減など

を学べたと思  
います。あと、  
陸上よりも海  
の事故の死亡  
率の方が高い

ことには驚き

ました。そし  
て、救急車が  
来るまでの間  
に心肺蘇生法  
をすることに



石川県滝港マリーナ（平成 17 年 9 月 24 日）

（高校生）

かけてくださいという事は、簡単なことだ  
けどみんな、なかなかできないと思います。  
けど、自分は学んだことを生かして積極的に  
声をかけていきたいとおもいます。

水難救助ボランティア教室の講習を受け  
て：僕は、講習を受けるまでは人工呼吸の

仕方や人命救助について、全くつて言うほど  
知りませんでした。この講習を受けてから  
は、人工呼吸の仕方等、大体覚えること  
ができました。あ：あきらめない。い：い  
いわけしない  
い。う：う  
けいれる。  
え：どんな  
ときでも笑

顔。お：お  
ごらない。  
この「あい  
うえお」も  
学ぶことが

（高校生）  
マネキンを使つた CPR では、思つてい  
た以上に息を吹き込むのが難しくなかなか  
胸の部分が膨れなくてビックリしました。  
始めに教えてもらつた、道端に倒れている  
人がいたら、知らんぷりをせずに必ず一声



宮崎県細島港（平成 17 年 10 月 27 日）

（中学生）

た。この講  
習を受けて  
ホントによ  
かつたと思  
います。

今回参加  
した水難救  
助方法など

急車が現場に来るまで、約 6 分間かかると  
いう事だけ言われて、その間に何をすれば  
いいのか知りませんでしたが、これからは、  
もしそのような現場にいた場合、その人の  
生存率を一パーセントでも上げることがで  
きると思うけど、今回はマネキンでやつた  
ので、本当の人間だつたら少し大変かもし  
れないけれど「ためらわない勇気」を大切  
にしていきたいです。



香川県仁尾小学校（平成 17 年 8 月 23 日）